

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-536810(P2004-536810A)

【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2003-501462(P2003-501462)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 47/40

A 6 1 P 1/04

// C 0 7 D 401/12

C 0 7 M 7:00

【F I】

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 47/40

A 6 1 P 1/04

C 0 7 D 401/12

C 0 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月9日(2004.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

実質的に純粋なS-オメプラゾールおよびシクロデキストリンを含む、安定な包接複合体。

【請求項2】

実質的に純粋なS-オメプラゾールおよびシクロデキストリンを含む安定な包接複合体であって、該複合体は、実質的に純粋なS-オメプラゾールまたはそれらの薬剤的に許容される塩にシクロデキストリンを加えることと、該包接複合体を形成するために溶液から沈殿させることによって調製される複合体。

【請求項3】

前記シクロデキストリンは-シクロデキストリンである、請求項1または2に記載の複合体。

【請求項4】

請求項1～3の何れか一項に記載の包接複合体と、薬剤的に許容されるそれらの担体を含む医薬組成物。

【請求項5】

実質的に純粋なS-オメプラゾールおよびシクロデキストリンを含む安定な包接複合体を調製する方法であって、実質的に純粋なS-オメプラゾールまたはそれらの薬剤的に許容される塩の水溶液にシクロデキストリンを加えることと、該包接複合体を形成するよう溶液から沈殿させることとを含む方法。

【請求項6】

前記水溶液はアルカリ性水溶液である、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

請求項 5 または 6 に記載の方法であって、包接複合体を単離する前に、前記複合体を含む混合物を希釈する工程と、その pH を調整する工程とをさらに含む方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法であって、前記 pH は、ホウ酸水溶液を用いて 8 ~ 10 の間に調整される方法。

【請求項 9】

請求項 5 ~ 8 の何れか一項に記載の方法であって、前記溶液 / 混合物の温度が 45 またはそれ以上に維持される方法。

【請求項 10】

請求項 5 ~ 9 の何れか一項に記載の方法であって、前記包接複合体を単離する前に、前記混合物を 5 またはそれ以下に冷却することを含む方法。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載の包接複合体を調製する方法であって、実施例 1 または 2 に記載されている方法。

【請求項 12】

胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、および胃炎のような、動物およびヒトにおける胃酸に関連した疾病および胃腸炎症性疾患を治療するための薬剤を製造するための、請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載の包接複合体の使用。